トーク企画

Vol.6

市長としゃべらんで

地域おこし協力隊 × 原井 敬 市長

4 月1日、本市に新たな「地域おこし協力隊」の隊員2人が着任し、本市の地域おこし協力隊員は5人となりました。
今回は新たに着任した隊員2人と原井市長のトークセッションの模様をお伝えします。

夢を実現させるため 地域おこし協力隊に

市長 今回は今年の4月に着任した地域おこし協力隊の2人にお話を伺いたいと思います。

着任して3カ月、慣れてきた頃だと思うんですが、仲良くやれていますか。

田岡 はい。私は主に「たねのや」で勤務していて、福村君は主に美郷ふれあい公園の整備をしてくれていますが、たまに「たねのや」にも来てくれてお昼ご飯を一緒に食べたりしています。

市長 そうですか。仲良くされているんですね。それでは、まずは地域おこし協力隊を志望した動機を聞きたいなと思います。田岡さんからお願いします。

田岡 私は吉野川市出身で、大学卒業まで徳島で暮らしていました。その後、香川県の旅行会社に就職しましたが、コロナの関係で1年間休業することになって今後どうしようかと考えていました。

元々祖母の家をゲストハウスにしたいという夢があって、そのことを美郷ほたる館で勤務する知り合いの方に相談したら、地域おこし協力隊の存在を教えていただきました。農家民宿をしている方とのつながりも持てるし、勉強になるんじゃないかと教えていただいて、自分の夢に向かっていけると思い、志望しました。自分から行動することが好きで、今もすごく楽しく仕事をさせてもらっています。

市長 美郷には農家民宿が3件ありますね。先輩もいるから勉強になるよね。「たねのや」はまさしくそういう場所やけん。

田岡 そうですね。幼なじみも県外から帰ってくるということもあって、2人で帰ってきて何かしようかと話をしてたので、本当にタイミングが良かったです。

市長 前の職場ではどんな仕事内容だったの？

田岡 オペレーターとしてお客さんに旅行のご案内をして旅行や飛行機の手配をしていました。

市長 旅行プラン作成とかそういうものですか。

田岡 そうですね。基本的にパンフレットに組まれているものでご案内するんですけど、自由に回りたいお客さんはホテルと飛行機を手配するっていう形で、オプショナルツアーへの参加の手配などもしてましたね。

市長 なるほど。そういう経験は今後も生かせそうですね。

田岡 はい。今後「たねのや」でイベントをする予定で、イベントを考えていくのも旅行のプランを考えていくのとすごく似ているので、今までの経験が生かされていて楽しく仕事ができています。

市長 今は美郷で暮らしとるんよね。

田岡 はい。住んでいる家は、とても大きくて、一人で住むには寂しいぐらいの大きさですが、そんなに山奥ではなくて、すぐ下に近所の方もいらっしゃるので安心しています。

市長 ご近所付き合いというかね、親切な方がたくさんいるので、いろいろと気にかけてくれたりしますよね。そういう

福村 和也（ふくむら かずや）［福岡県出身］Iターン
吉野川市商工会・吉野川市中山間地域交流拠点施設「たねのや」勤務

田岡 若葉（たおか わかば）［吉野川市出身］Uターン
吉野川市中山間地域交流拠点施設「たねのや」・美郷物産館 勤務

原井 敬 市長

横のつながりが深い地域ですので。

それでは福村君、志望動機を聞かせていただけますか。

福村 僕は学生の頃、テニスをやっていたんですけど、大学生の時に全国大会に出場してタイトルを取ったことを機に、いろんなことに興味を持ち始めました。自分の貯金を削りながら台湾を旅していたとき、台湾の地域の方の家に泊めていただいたことがありました。いろいろ不安になったときだったので心の底から嬉しかったんです。だから僕も誰かを助けたい、助け合える温かい空間を作りたいと思って日本に帰ってきました。

市長 何歳の時に？

福村 19歳の時です。日本に帰ってきて数カ月後に徳島で四国シェアサミットというイベントがあって、そこで吉野川市の方とつながりを持つことができました。

当時はコロナ禍ではなかったので、梅酒まつりなどのイベントのお手伝いをするために、月に1度ヒッチハイクをして徳島に来ていました。みんなでワイワイやっているうちに自分が探していた温かい空間はここだなって思いました。いろんな業種の方と一緒にまちおこしを続けていく中で、もっといろんな人にこの地域の良い部分を知ってもらいたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

3カ月間働いてみて、他の地域おこし協力隊の皆さんを見ていると、自分には社会に通用する特技がないなって思いました。でも地域の方がもっとこうしたほうがいいよとアドバイスを毎回くださるので、この3年間で自分の伸ばしていくべき部分を勉強させていただきながら、少しでも地域のプラスになることができればと思っています。

市長 ヒッチハイクで全国各地に行ったの？

福村 はい、ありがたいことに。ヒッチハイクで県外の方と出会って、またこっちにも来てよと言ってくださる方がたくさんいらっしゃいました。

市長 その中でも徳島とは縁が深かったということですね。

吉野川市ってどんなところ？

市長 それでは次の質問にいきましょうか。福村君は県外から来てくれていますが、吉野川市に来てみての印象や感想を教えていただけますか。

福村 吉野川市に来て間もない頃、川島の土手沿いでごみ拾いのボランティアに参加していたときに、通りがかりの人が「ごみ拾いおつかれさま」と気さくに話しかけてくれました。僕が住んでいた所では、通りがかりの人にあいさつをするというのがあまりなかったので、とても嬉しい気持ちになりましたね。温かい人が多いなと思いました。

市長 なるほど。商工会青年部の関係で30代・40代の年齢の方とつながりが多いと思うけど、そういう方との付き合いはどうですか。

福村 すごくかわいがってもらっています。こんなに優しくしてもらっていいのかと思うぐらいです（笑）。本当に温かい人が多いですね。

市長 美郷や山川で勤務することが多いと思うんですけど、自然の部分ではどうですか。

福村 全国のいろんな自然や景色を見てきましたが、その中でも美郷は何も手を加えられていない自然が多くて毎回景色を見る度にすごいなと感じますね。

市長 生まれ故郷は福岡の市街地のほうですか。

福村 都会のほうだったので、自然に触れ合う機会があまりなかったですね。あと、こちらの方から子どもの頃は川に石を投げて水切りをして遊んでたという話を聞いて、都会と全然遊び方が違うなと思いました。

市長 この地域は吉野川も含めて身近に川がいくつもありますんでね。

それでは田岡さんお願いします。田岡さんは元々徳島で生まれ育っているので、改めて知ったこととか、気づいた点があれば聞かせてください。

田岡 私にとって田舎は暮らしやすい場所ですが、美郷に関しては知識を付けないと案内できないので、ホタルや梅酒、美郷の物産も含めて、着任して3カ月間でいろんなことを学びました。お客さんの反応を見て、改めて自然がきれいでいいところなんだと感じているところです。吉野川市に生まれてよかったと思っています。

市長 学生時代や小さい頃からつながりのある方は応援してくれていますか。